

第 38 回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要

都市名 川崎市

訓練目的	過去の地震の教訓や首都直下地震発生の切迫性を踏まえ、自助・共助・公助の理念に基づき、実践的な防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図る。
日時	中央会場：平成 29 年 8 月 27 日（日）10：00～12：00 （防災体験、防災展示は 9：30 から先行開始） 多数遺体取扱訓練：平成 29 年 9 月 7 日（木）13：00～15：00
会場	あさおふれあいの広場及びあさおふれあいの丘（川崎市麻生区上麻生 6 - 1 5 - 1 「麻生水処理センター」） 麻生スポーツセンター（川崎市麻生区上麻生 3 - 6 - 1）
規模	参加・協力機関 55 機関（予定）
想定地震	平成 29 年 8 月 27 日（日）午前 10 時 00 分ころ、川崎市直下を震源とする強い地震が発生、市内の広い範囲で震度 6 弱以上、多摩区では震度 6 強を記録した。これにより、家屋の倒壊、道路や鉄道などの交通網の寸断、電気・水道・ガス・通信等のライフライン遮断が生じた。
訓練項目	(1) 災害応急対策活動訓練（中央会場） ＜訓練項目＞ 応急救護、初期消火、情報収集伝達、道路啓開、緊急交通路確保、ライフライン応急復旧、救出救助、災害時応急医療、給食、広報、ボランティアセンター設置・運営、救援物資受入、ペット同行避難、避難所医療、防災展示、市民参加型体験、麻生区自主防災組織による一斉避難及び情報伝達 (2) 遺体安置所設置運営訓練（多数遺体取扱訓練） ＜訓練項目＞ 遺体安置所の設営、遺体の受付・記録作成、所持金品保管、検視・検案、身元確認、関係書類の作成、遺体洗浄・消毒・遺体縫合、遺体引き渡し等（所持金品等返還）、遺族への対応、報道（広報）
訓練の特徴	1 防災関係機関相互の連携強化と市民参加型体験訓練の充実化 2 麻生区の地域特性を踏まえた土砂災害対策訓練の実施 3 救援物資集積場所（北部市場）を活用した物資輸送訓練の実施 4 麻生区自主防災組織による一斉避難及び情報伝達訓練の実施
問い合わせ先	川崎市総務企画局危機管理室 電話 044 - 200 - 2923